

令和 6 年度福岡県市町村地方公営企業会計決算（速報）について
（政令市を除く）

1 事業数及び決算規模

- 事業数は、174 事業（前年度から 1 減）。
決算規模は、前年度に比べ 23.1 億円（1.2%）増加して 1,932.4 億円となった。
（単位：億円）

	令和 5 年度		令和 6 年度		増減（R6 年度-R5 年度）	
	事業数	決算規模	事業数	決算規模	事業数	決算規模
法適用	147	1,909.3	154	1,932.4	+ 7	23.1
法非適用	28		20		▲ 8	
計	175	-	174	-	▲ 1	-

（注 1） 地方公営企業法の適用の有無による分類。法適用企業では、民間企業と同様に発生主義に基づく複式簿記で経理。
（注 2） 事業数は、各年度とも 3 月 31 日現在。
（注 3） 決算規模の算出式は、次のとおり。
法適用：総費用（税込み）－減価償却費＋資本的支出、法非適用：総費用＋資本的支出＋積立金＋繰上充用金
（注 4） 本資料において、法適用企業には、公営企業型地方独立行政法人が含まれる。

2 損益の状況

- 法適用企業における経常損益、法非適用企業における収益的収支が赤字の事業は 34 事業（前年度比 4 事業増）。

3 資金不足比率の状況

- 地方公営企業に係る資金不足額が生じた事業は、前年度から 1 事業増の 2 事業で、小竹町及び糸田町の病院事業。
- 小竹町の病院事業については、医師不足が継続しているものの、町からの繰入金増により資金不足比率は前年度から改善している。
- 糸田町の病院事業については、医師不足に伴う患者数の減少等によって収支が悪化したことが主な要因となっている。

団体名	事業名	資金不足額	資金不足比率(%)	経営健全化基準(%)	【参考】事業の規模
小竹町	病院	(184.1) 30.0	(42.7) 7.4	20.0	403.9
糸田町	病院	(-) 25.7	(-) 6.9		366.9

（注 1） 表中括弧内は令和 5 年度地方公営企業決算の数値

4 企業債発行額・企業債残高の状況

- 令和 6 年度の企業債発行額は 281.9 億円（前年度比 8.1%増）。
- 令和 6 年度末の企業債残高は、4,962.4 億円（前年度比 2.4%減）。

5 主な法適用企業の決算概要（〔 〕内の金額は経常損益）

- 水道事業…増収減益〔49.4 億円の黒字（前年度比 0.7 億円の黒字減）、経常収支比率 109.8〕
- 病院事業…減収減益〔33.2 億円の赤字（前年度比 15.1 億円の赤字増）、経常収支比率 91.3〕
- 下水道事業…増収増益〔58.9 億円の黒字（前年度比 1.6 億円の黒字増）、経常収支比率 110.7〕
（注 1） 経常収支比率は「（経常収益／経常費用）×100」で算出。普通会計と異なり、100 を超えると黒字を意味する。
（注 2） 水道事業には、簡易水道事業を含む。